

| 重点取組分野         | 平成28年度   |  | 総括 |
|----------------|--|--|----|
|                | 具体的取組  | 自己評価結果   |    |
| 確かな学力          | ①「しっかり教え、しっかり引き出す指導」の充実を目指した日々の授業改善に努め、基礎・基本の力の定着を図ります。②少人数指導による個に応じたきめ細やかな指導を実施したり、学年協業による授業形態を工夫したりして、指導の場や指導方法の工夫改善をすすめます。  | 限られた時間の中でも、学年研で教材研究などを行い、授業改善に努めた。中学年は算数の少人数指導を行い、より個に応じた細やかな指導を行うことができた。5年は教科担任制を取り入れ、教員の専門性を生かした指導形態の工夫を行った。在籍人数の多い学級がほとんどで、個に応じた指導の難しさがあった。             | B  |
| 豊かな心           | ①豊かな体験活動で培った子どもの問題意識を生かして道徳の授業改善を進め、教職員の授業力の向上を目指します。全学級の道徳授業公開を年1回以上実施します。②幼保小、他の学年、地域などとの交流活動を充実させます。③自ら進んで挨拶する姿を認め、学年に応じた取組につなげていきます。   | 授業改善を進め、全学級の道徳授業を年1回以上公開した。各学年で幼保小交流や地域交流活動を充実させ、自分とかわりのある人たちへの意識を深めることができた。交流学年を同じ階にしたことで、日々交流を深める姿が見られた。各学年の発達段階に応じて挨拶の指導を継続的に進めたが、なかなか定着まで至らず課題が残った。    | B  |
| 健やかな体          | ①全教育活動の中で運動に親しむ資質能力と健康を適正に管理する能力を育てます。②正しい姿勢の大切さを知り、筋力や体力、集中力の向上を目指します。③一校一実践運動に「縄跳び」を取り上げ、縄跳び集会とそれに向けた練習を通して、体力向上を目指します。  | 校庭や体育館が十分に使えない状況もあり、運動に親しんだり、運動量を確保したりする難しさがあった。委員会等の取組で体づくりの大切さの意識が高まったことで、休み時間に進んで運動したり、遊びに取り入れようとしたりする姿が見られた。学校保健委員会で取り上げたことで、姿勢についての意識を高めることができた。      | B  |
| 教育課程・学習指導      | ①共同研を通して問題解決的な学習過程を意識した授業づくりに取り組みます。②「基礎・基本をしっかり身につけ、自らの考えを創っていく子を目指した」実践的なカリキュラム改善をすすめます。   | 国語の共同研究は3年目の取組となる。学年で同じ単元の授業を扱ったことで、よりよい学習過程や指導法についての研究を深めることができた。学年単位での研究を深めることはできたが、6年間を見通した系統的な視点での研究が次の課題となる。  | B  |
| 児童・生徒指導        | ①ルールブックをもとに、あいさつ、ルール、マナーの3つの柱を児童とともに充実させます。②情報の共有を丁寧に行います。③いじめの未然防止に取り組みます。④児童一人ひとりの自尊感情を高めるための指導、支援を行います。   | ルールブックを抛り所にしたことで、どの教職員もぶれることなく指導に当たることができた。個別の児童指導場面では、児童支援専任を中心に、複数の職員で迅速に丁寧に対応するよう努めたが、職員間の情報共有が課題として残った。YPなどで自尊感情の実態をつかみ、ともに成長を喜び認め合える温かい学級風土づくりに取り組んだ。 | B  |
| 安全管理           | ①様々な状況を想定した環境の整備を行うとともに職員研修を充実させ、指示系統や初動体制を確立させます。②登下校の安全に、保護者・地域の協力を得ていきます。   | 児童や校内環境の実態に応じて、改善しながら安全指導を進めた。登下校では、PTAのパトロールとともに、職員による見回りや指導を行ったが、下校指導の取組は学年によって差があった。児童の安全意識の高まりのためには、地域や家庭の協力が不可欠であるので、学校便り等で、積極的に発信していく必要性を改めて確認した。    | B  |
| 特別支援教育         | ①支援を必要とする児童についての教職員の共通理解を深めるとともに、校内研修や療育センター見学などを通して支援力を高めます。②特別支援コーディネーターを中心として、関係機関との連携を積極的に測り、支援体制の充実に努めます。③スムーズな入学や進学ができるよう、幼保小及び小中の連携を図ります。   | 児童支援全体会などで、支援が必要な児童について、全員で共通理解を深めることができた。関係機関との連携が必要な児童も増えてきているので、ケース会議を開催して、ネットワークを広げながら指導に当たるようにした。個々の支援計画を具体的に立案し、パワーアップの取組と連携させながら、支援に当たることができた。      | B  |
| 人材育成・組織運営      | ①メンターチームによる研修の充実を図ります。②研究や児童指導等に、学年チームで取り組み、組織としての力を高めることを通じて個々の力量形成を図ります。   | メンターチームで、相互に参観をしたり教材研究をしたりして、指導力向上に向け取り組んだ。先輩教員も積極的に研究授業を参観し、適切な助言を与えていた。学年研で教材研究に充てる時間が十分に確保できない現状がある。また、職員が多い分、他学年との情報交換や情報共有は難しいところがあり、引き続いての課題となっている。  | B  |
| ブロック内相互評価後の気づき | 昨年度の名瀬小での授業参観に続き、今年度は名瀬小と本校で授業公開を行った。小中の指導観のすり合わせに向けて、実際の授業場面を通して相互理解を深めることができた。また、合同研修会の場も設け、地域のもつ強みと弱みについてともに考えることができた。保護者や地域が協力的で、子どもたちが明るく素直である一方で、自ら判断し行動する力や自己肯定感を高める必要性が確認された。地域性を生かした、9年間の子どもの学びと成長について、共通の認識を深める良い機会となった。 |  |    |
| 学校関係者評価        | 本校児童は、一人の時には挨拶をすることができているが、集団でいる時には恥ずかしいのか挨拶をしないようだ。しかし、学校で挨拶について取り組んでいる成果が出て、挨拶についての意識は全体的に高まっているように感じる。また、見知らぬ人に道を聞かれた時には、車には近寄らずその場で答えるなど、学校で具体的に指導していることが分かった。学校生活を楽しいと感じている児童が全体的には多いが、楽しくないと感じている少数の児童への対応をこれからも大切にしたい。      |  |    |

|                |   |
|----------------|---|
| 学校経営中期取組目標振り返り | 学年研を中心に教材研究を進め、指導力向上と授業改善に努めてきた。共同研では、学年で同じ単元の授業を扱ったことで、指導過程について研究を深めることができた。学級の児童数が多いこともあり、個々の児童への対応の充実には、引き続きの課題である。体育館改修工事に伴い、狭い校庭での体育授業や遊びを余儀なくされたが、休み時間を安全に過ごしたり運動不足を解消したりするにはどうしたらよいかを、児童自身が考えようとする姿が見られた。挨拶の定着には課題が残るものの、幼保小などの交流の機会を通して、相手のことを考える優しさが育ってきているといえる。 |
|----------------|---|

| 重点取組分野         | 平成29年度  |        | 総括 |
|----------------|---|--------|----|
|                | 具体的取組   | 自己評価結果 |    |
| 確かな学力          | ①「しっかり教え、しっかり引き出す指導」の充実を目指した日々の授業改善に努め、基礎・基本の力の定着を図ります。②少人数指導による個に応じたきめ細やかな指導を実施したり、学年協業による授業形態を工夫したりして、指導の場や指導方法の工夫改善をすすめます。   |        |    |
| 豊かな心           | ①豊かな体験活動で培った子どもの問題意識を生かして道徳の授業改善を進め、教職員の授業力の向上を目指します。全学級の道徳授業公開を年1回以上実施します。②幼保小中、他の学年、地域などとの交流活動を充実させます。③自ら進んで挨拶する姿を認め、学年に応じた取組につなげていきます。   |        |    |
| 健やかな体          | ①全教育活動の中で運動に親しむ資質能力と健康を適正に管理する能力を育てます。②正しい姿勢の大切さを知り、筋力や体力、集中力の向上を目指します。③一校一実践運動に「縄跳び」を取り上げ、縄跳び集会とそれに向けた練習を通して、体力向上を目指します。   |        |    |
| 地域連携           | ①地域コーディネーターと連携して、地域の人材の発掘に努め学習や行事等に協力して取り組める体制を作っていきます。②中学ブロックや地域の保育園・公共施設と連携して学び合い、地域を愛する子どもを育てていきます。③PTA・おやじの会・川北っ子支援隊・各自治会等と連絡を密にして子どもを見守り育てていきます。   |        |    |
| 児童・生徒指導        | ①ルールブックをもとに、あいさつ、ルール、マナーの3つの柱を児童とともに充実させます。②児童指導全体会や職員会・主任打ち合わせなどを通じて職員が連絡を密にし情報の共有を丁寧に行います。③児童一人ひとりの自尊感情を高めるための指導、支援に努めます。   |        |    |
| 安全管理           | ①様々な状況を想定した環境の整備を行うとともに職員研修を充実させ、指示系統や初動体制を確立させます。②登下校の安全に、保護者・地域の協力を得て取り組みます。③児童自身が主体的に判断し安全行動がとれるよう日頃より指導します。   |        |    |
| 特別支援教育         | ①支援を必要とする児童についての教職員の共通理解を深めるとともに、校内研修や療育センター見学などを通して支援力を高めます。②特別支援コーディネーターを中心として、関係機関との連携を積極的に図り、支援体制の充実に努めます。③スムーズな入学や進学ができるよう、幼保小及び小中の連携を図ります。  |        |    |
| 人材育成・組織運営      | ①メンターチームによる研修を充実させ技術の向上を図ります。②研究や児童指導等に学年チームやブロックで取り組み、組織としての力を高めることを通じて個々の力量形成を図ります。   |        |    |
| ブロック内相互評価後の気づき | 本校で授業公開を行った。小中の指導観のすり合わせに向けて、実際の授業場面を通して相互理解を深めることができた。また、合同研修会の場も設け、地域のもつ強みと弱みについてともに考えることができた。保護者や地域が協力的で、子どもたちが明るく素直である一方で、自ら判断し行動する力や自己肯定感を高める必要性が確認された。地域性を生かした、9年間の子どもの学びと成長について、共通の認識を深める良い機会となった。                     |        |    |
| 学校関係者評価        | 本校児童は、一人の時には挨拶をすることができているが、集団でいる時には恥ずかしいのか挨拶をしないようだ。しかし、学校で挨拶について取り組んでいる成果が出て、挨拶についての意識は全体的に高まっているように感じる。また、見知らぬ人に道を聞かれた時には、車には近寄らずその場で答えるなど、学校で具体的に指導していることが分かった。学校生活を楽しいと感じている児童が全体的には多いが、楽しくないと感じている少数の児童への対応をこれからも大切にしたい。 |        |    |

|                |  |
|----------------|--|
| 学校経営中期取組目標振り返り |  |
|----------------|--|

| 重点取組分野         | 平成30年度   |        | 総括 |
|----------------|--|--------|----|
|                | 具体的取組  | 自己評価結果 |    |
| 確かな学力          | c5   |        |    |
| 豊かな心           | c6   |        |    |
| 健やかな体          | c7   |        |    |
|                | c1   |        |    |
|                | c9   |        |    |
|                | c2   |        |    |
|                | c10  |        |    |
|                | c3   |        |    |
|                | c11  |        |    |
|                | c4   |        |    |
|                | c12  |        |    |
| ブロック内相互評価後の気づき | 昨年度の名瀬小での授業参観に続き、今年度は名瀬小と本校で授業公開を行った。小中の指導観のすり合わせに向けて、実際の授業場面を通して相互理解を深めることができた。また、合同研修会の場も設け、地域のもつ強みと弱みについてともに考えることができた。保護者や地域が協力的で、子どもたちが明るく素直である一方で、自ら判断し行動する力や自己肯定感を高める必要性が確認された。地域性を生かした、9年間の子どもの学びと成長について、共通の認識を深める良い機会となった。 |        |    |
| 学校関係者評価        | 本校児童は、一人の時には挨拶をすることができているが、集団でいる時には恥ずかしいのか挨拶をしないようだ。しかし、学校で挨拶について取り組んでいる成果が出て、挨拶についての意識は全体的に高まっているように感じる。また、見知らぬ人に道を聞かれた時には、車には近寄らずその場で答えるなど、学校で具体的に指導していることが分かった。学校生活を楽しいと感じている児童が全体的には多いが、楽しくないと感じている少数の児童への対応をこれからも大切にしたい。      |        |    |

|                |  |
|----------------|--|
| 学校経営中期取組目標振り返り |  |
|----------------|--|

| 重点取組分野       | 平成28年度 |      |        |      |
|--------------|--------|------|--------|------|
|              | 具体的取組  |      | 自己評価結果 |      |
| 確かな学力        | 125    | <160 | 142    | <153 |
| 豊かな心         | 137    | <160 | 152    | <153 |
| 健やかな体        | 121    | <160 | 149    | <153 |
| 教育課程・学習指導    | 90     | <160 | 113    | <153 |
| 児童・生徒指導      | 106    | <160 | 154    | <153 |
| 安全管理         | 76     | <160 | 151    | <153 |
| 特別支援教育       | 144    | <160 | 149    | <153 |
| 人材育成・組織運営    | 74     | <160 | 153    | <153 |
| 相互評価<br>気付き  | 226    |      | <265   |      |
| 学校関係者<br>評価  | 225    |      | <265   |      |
| 中期目標<br>振り返り | 264    |      | <265   |      |

| 重点取組分野       | 平成29年度 |      |        |      |
|--------------|--------|------|--------|------|
|              | 具体的取組  |      | 自己評価結果 |      |
| 確かな学力        | 125    | <160 |        | <153 |
| 豊かな心         | 137    | <160 |        | <153 |
| 健やかな体        | 121    | <160 |        | <153 |
| 地域連携         | 150    | <160 |        | <153 |
| 児童・生徒指導      | 123    | <160 |        | <153 |
| 安全管理         | 111    | <160 |        | <153 |
| 特別支援教育       | 144    | <160 |        | <153 |
| 人材育成・組織運営    | 86     | <160 |        | <153 |
| 相互評価<br>気付き  |        |      | <265   |      |
| 学校関係者<br>評価  |        |      | <265   |      |
| 中期目標<br>振り返り |        |      | <265   |      |

| 重点取組分野       | 平成30年度 |      |        |      |
|--------------|--------|------|--------|------|
|              | 具体的取組  |      | 自己評価結果 |      |
| 確かな学力        | 2      | <160 |        | <153 |
| 豊かな心         | 2      | <160 |        | <153 |
| 健やかな体        | 2      | <160 |        | <153 |
| c1           | 2      | <160 |        | <153 |
| c2           | 2      | <160 |        | <153 |
| c3           | 3      | <160 |        | <153 |
| c4           | 3      | <160 |        | <153 |
| 人材育成・組織運営    | 3      | <160 |        | <153 |
| 相互評価<br>気付き  |        |      | <265   |      |
| 学校関係者<br>評価  |        |      | <265   |      |
| 中期目標<br>振り返り |        |      | <265   |      |